

報道関係各位

2021年3月3日  
株式会社ダスキン

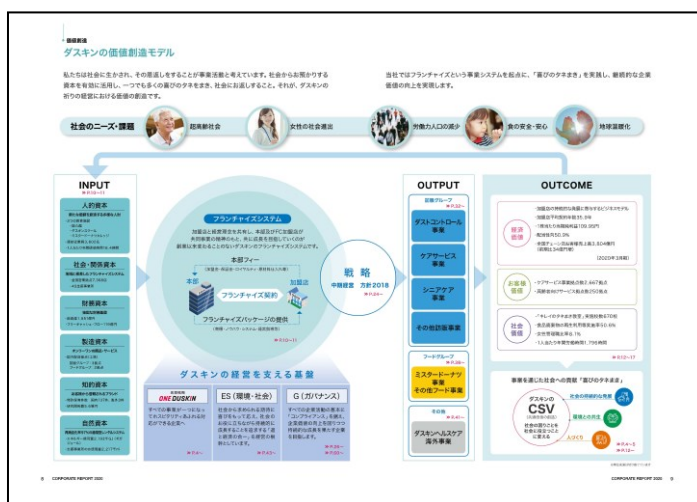
## GPIFの国内株式運用機構が選ぶ 「改善度の高い統合報告書」に初選定

株式会社ダスキン（本社：大阪府吹田市、社長：山村輝治）が発行する「Corporate Report 2020 ダスキン統合レポート」（以下、統合報告書）は、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の国内株式運用機構が選ぶ「改善度の高い統合報告書」に初選定された。今回は延べ94社が選ばれている。

本年度の統合報告書は、価値創造とともにCSVの取り組み、財務戦略・資本政策について理解を深めていただけるよう心がけ、特に価値創造モデルの全体像やプロセスの解説、CSVリスクと機会、ならびに社外取締役をはじめとするガバナンス体制について内容を充実させた。

今後も具体的な施策や指標の充実を図り、より一体的な情報開示に努め、ステークホルダーの皆様への期待と信頼に応えるべく継続して改善を図り、更なる企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献する企業を目指す。

以上



「Corporate Report 2020 ダスキン統合レポート」の表紙と価値創造モデルのページ（次ページに拡大）

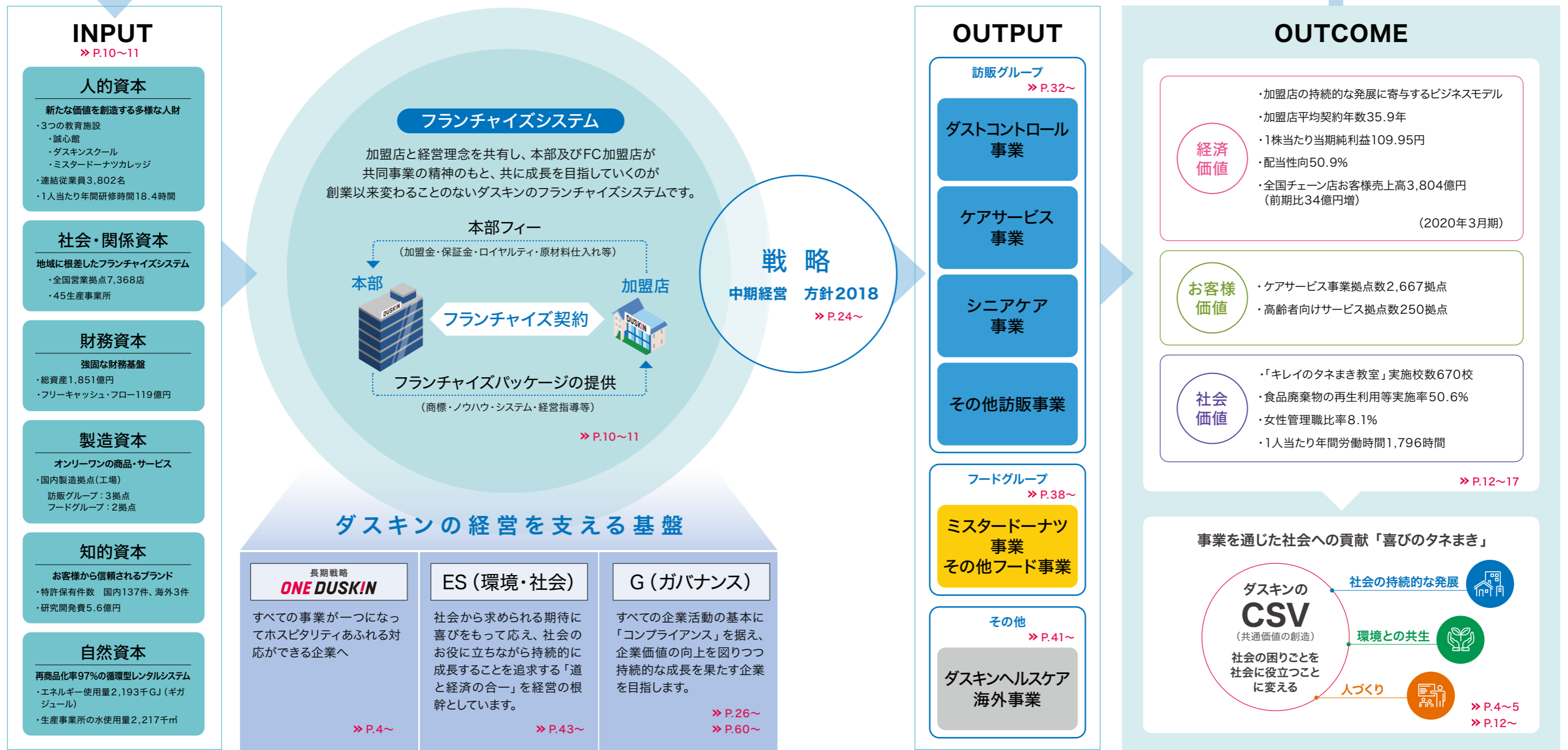
「Corporate Report 2020 ダスキン統合レポート」はホームページでご覧いただけます。

<https://www.duskin.co.jp/esg/library/>

# ダスキンの価値創造モデル

私たちは社会に生かされ、その恩返しをすることが事業活動と考えています。社会からお預かりする資本を有効に活用し、一つでも多くの喜びのタネをまき、社会にお返しすること。それが、ダスキンの祈りの経営における価値の創造です。

当社ではフランチャイズという事業システムを起点に、「喜びのタネまき」を実践し、継続的な企業価値の向上を実現します。



※単位未満は切り捨てています